

日本史

(解答番号 1 ~ 38)

問題 I 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。

4世紀の東アジアは不安定な情勢となり、倭国（ヤマト政権）も朝鮮半島で交戦をくりかえしていた。^(a)大和地方の政治連合であったヤマト政権は、やがて5世紀から6世紀にかけて、地方豪族たちを服属させ、大王を中心とした支配体制を形成した。その後、^(b)新たに即位した推古天皇の下で、国家組織の整備と求心力の強化が進められた。さらに6世紀なかばの国際的緊張に直面すると、中央集権の確立が急務となった。このようにして、天皇（大王）を中心とした、^(c)律と令を統治の基本法とする国家体制が急速に整備された。

各地で古代の道の遺構が発見されているが、それらは上記のような国家体制による、国内統一に向けた地方支配の遺構でもある。国家は、^(d)地方支配の拠点として諸国に国府を置いた。そして、全国を畿内と^(e)7つの道に区分し、^(f)諸国府を繋ぐ道路網を整備した。

要所を繋ぐ道という意味では、それは陸に限られない。ヤマト政権が出現するはるか以前、倭人の社会が百余国に分かれ、Aに使者を送っていたことが歴史的に明らかにされている。また、^(g)各地で出土している青銅製祭器は、もともと朝鮮半島に起源をもつとされており、海路による活発な往来を裏づけるものである。その後も、^(h)国家間の海を挟んだ使節の交換が盛んになり、海路の重要性は増した。

平安時代に入ると、道を利用して中央の支配の浸透と拡大が進められ、⁽ⁱ⁾東北地方の制圧は長年にわたって続けられた。しかし、こうした支配のための戦いは、平安京の造営と相まって国家財政や民衆にとっての負担となり、^(j)平安時代前期の政治改革の契機にもなっている。

中世の道といえば、関東では鎌倉街道がよく知られる。これは、都市鎌倉と東国武士たちの各所領とを結ぶ古道の総称である。そのような街道が各地に生まれたことは、鎌倉幕府がつくりあげた支配の仕組みが、東国に堅固な根を張っていたことの証である。^(k)しかし、鎌倉幕府を滅亡に追いやった軍勢がその街道を疾駆して鎌倉をめざしたように、中世の道は、敵を討ち、あるいは^(l)都に攻め上ろうとする武士たちの進軍ルートでもあった。

道はこのように、さまざまな歴史を記憶している場所といえる。

問1 文中の空所Aに入れるのに最も適切な地名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 1

- ① 帯方郡 ② 洛陽 ③ 揚州 ④ 楽浪郡

問2 下線部(a)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 2

- ① 朝鮮半島南部では、小国の連合が形成されていたが、そのなかから、百済と新羅が興って国家を形成した。
 ② 中国東北部から興った高句麗は、朝鮮半島北部に領土を広げ、さらに倭国と同盟関係にあった朝鮮半島南部の国を滅ぼした。
 ③ 倭国は、百済を足がかりとして宋と交戦し、宋の騎馬軍団との戦いなどから、乗馬の技術を習得していった。
 ④ 北魏が北方の匈奴などの侵入を受けて南に移り分裂したことから、中国の支配力が弱まり、東アジアの諸地域で国家が形成された。

問3 下線部(b)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 3

- ① 大王宮を飛鳥から難波に移すことで、奈良盆地を拠点とする旧来の有力豪族の影響力を削ぎ、政治改革を推し進めた。
 ② 伝統や在来の信仰を重んじる豪族の物部守屋を滅ぼし、大陸の先進文化を積極的に受容する政策を採用した。
 ③ 諸豪族に対して国家に仕える官吏としての自覚をもたせるため、仏教や儒教の思想を取り入れた新しい政治理念を示した。
 ④ 唐・新羅の連合軍に朝鮮半島の戦場で大敗したことを受けて防衛政策を進め、九州や山陰に警固組織を置いた。

3 (日本史)

(日本史) 4

問4 下線部(c)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 4

- ① 中央の行政組織として設けられた八省のうち、天皇家の庶務を担当する宮内省は、太政官から独立して置かれた。
- ② 行政組織のなかで、大蔵省は租税の徴収を担うだけでなく、民政全般を司ったことから、大きな力をもっていた。
- ③ 全国一律の刑罰が定められ、中央において刑部省が裁判所の役割を果たしたが、地方に裁判権はなかった。
- ④ 位階による官人の身分制度が整えられ、位階上位者は、その位階に応じて子や孫にも位階が与えられるという特権を有していた。

問5 下線部(d)に関連して、当時の地方組織についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 5

- ① 国司は、中央政府の命によって任国へ派遣されたのに対して、郡司はかつての在地の豪族や有力者が任命された。
- ② 地方の役所には、国の役所と同様、卿・輔・丞・録の四等官が置かれ、その下の官職に位階に応じて官人が配置された。
- ③ 国司の下に、風俗取締りや警察の役割を担うものとして弾正台が置かれ、治安の維持に当たるほか、官人の監察にも当たった。
- ④ 京には左右衛門府が、難波には衛門府が、九州北部には大宰府が置かれ、それぞれの要地の官庁としての役割を果たした。

問6 下線部(e)に関連して、すべて同じ道に属している国の組合せとして最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 6

- ① 土佐 — 阿波 — 讃岐 — 紀伊 ② 石見 — 伯耆 — 播磨 — 丹波
- ③ 長門 — 安芸 — 美作 — 淡路 ④ 摂津 — 和泉 — 河内 — 近江

問7 下線部(f)の道路についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 7

- ① 国府と郡家を結ぶ放射状にのびた駅路がつながり、地方までのびる網目状の交通体系がつけられた。
- ② 国府間での連絡を目的とした交通体系を利用して整備されたもので、元来は中央と地方を結ぶ役割をもっていなかった。
- ③ 中央から地方へ一定間隔で駅家を設ける駅制が敷かれ、官吏による命令伝達や報告といった公用に利用された。
- ④ 中央から地方への命令伝達、地方から中央への報告に使われていたことから、伝路とよばれていた。

問8 下線部(g)のうち、主に近畿地方を中心に分布しているものとして最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 8

- ① 銅鐸 ② 銅矛 ③ 銅剣 ④ 銅戈

問9 下線部(h)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 9

- ① 隋に派遣された使節は、皇帝に臣属しない旨の国書を送ったことで皇帝の怒りを買って、外交関係を築くことができなかった。
- ② 唐に派遣された使節は、政治的緊張から朝鮮半島沿岸を進む航路を避けて、東シナ海を横切る航路をとるようになった。
- ③ 渤海は、隋や高句麗との対抗関係から、日本に使節を派遣して国交を求め、日本もこれに応じた。
- ④ 新羅が日本を属国として扱おうとした結果、日本との間に緊張関係が生じたため、両国間では使節の交換はなされなかった。

問10 下線部(i)の政策を批判した当時の政治家として最も適切な人物名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 10

- ① 菅野真道 ② 吉備真備 ③ 藤原基経 ④ 藤原緒嗣

問11 下線部(j)に関連して、嵯峨天皇の時代に新たに整備された制度や官職として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 11

- ① 蔵人所 ② 記録所 ③ 追捕使 ④ 勘解由使

問12 下線部(k)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 12

- ① 幕府は、国家組織の基礎を担ってきた律令制を廃止して、将軍と御家人の主従関係を基礎とした政治制度を確立した。
 ② 幕府は、問注所の下で訴訟を専門に担当する評定衆を任命し、所領や荘園などの紛争を公平に裁くことで、支配の安定化に努めた。
 ③ 幕府は、法令によって幕府と朝廷の関係を定め、朝廷を支配下に置き、武家による一元的な支配を確立した。
 ④ 幕府は、御家人のなかから地頭を任命し、年貢の徴収や納入、土地の管理や治安維持を担当させて、公領や荘園に対する支配を強めた。

問13 下線部(l)が起こした軍事行動とその結果についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 13

- ① 平家を都落ちさせた源義仲は、入京後に朝廷の反発を買い、義仲追討の院宣を受けた源義経らの軍勢に倶利伽羅峠の戦いでやぶれた。
 ② 承久の乱で後鳥羽上皇方の軍勢をやぶり、京都に攻め上った北条泰時は、六波羅探題として朝廷を監視し、西国の統轄にあたった。
 ③ 鎌倉幕府から西国の守護に派遣された足利高氏は、幕府の命に背いて、在京中の北条時行を攻め滅ぼし、幕府滅亡のきっかけをつくった。
 ④ 織田信長は、足利義昭と通じて京都に攻め上ろうとした武田氏を長篠の戦いで打ちやぶると、義昭を京都から追放して室町幕府を滅ぼした。

問題II 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。なお、設問における史料には、一部省略したり、書き改めたりしたところがある。

16世紀なかばに移入が始まった西洋学術は、安土桃山時代に一定の受容が進んだうえで、江戸時代には貿易国や対外政策の変化に影響を受けながら、さらなる展開を示した。
 戦国時代、ヨーロッパから来日した宣教師、商人などによって西洋の多様な文化・文物がもたらされた。とくに、キリスト教の布教活動においては教会や学校が建てられ、^(a) 図書や出版物が刊行されて、^(b) ヨーロッパの学問、技芸、技術などが伝えられ、受容された。近世初期の対外貿易の拡大によって、当時の国際通商上の共通語だったポルトガル語やスペイン語の自発的な学習、また両国経由で移入された医術などの西洋学術の研究や実践が進み、それらは蛮学または南蛮学とよばれた。

徳川秀忠の将軍時代には、禁教令が出され、貿易統制が開始されて、ヨーロッパとの貿易地は A と長崎に制限され、蛮学はこの両地で深められた。徳川家光の将軍時代には貿易地は長崎に限定され、長崎が蛮学の拠点となった。その後禁教と貿易統制がいっそう強化され、オランダが唯一のヨーロッパとの貿易国となった。すると、長崎の B がオランダとの交流や通商のための通訳や翻訳の学習・研究に携わり、オランダ経由の医学などの西洋学術の学習・研究にも関わった。^(c) オランダ商館長の江戸参府は定例化され、使節一行の参府時には世界情勢が幕府に報告されて、西洋学術も伝えられた。

徳川綱吉の将軍時代には、現実的・合理的な精神の高まりを受けて実用的な学問が発達した。^(d) 徳川吉宗の将軍時代には、実学が奨励されてキリスト教関係以外の漢訳洋書の輸入が緩和され、オランダ語学習も促されて、オランダ経由の西洋学術の本格的な学習・研究が始まった。徳川家治の将軍時代には、オランダ語の学術書が江戸で翻訳刊行されるなどして蘭書が広く読まれるようになり、オランダ経由の西洋学術の学習・研究は蘭学とよばれるようになった。徳川家斉の将軍時代には、蘭学奨励の論議が出され、幕府に蘭書を翻訳する機関が設けられて、蘭学は幕府の公学となった。また、家斉の将軍時代は経世論が盛んにあらわれ、高まった対外的緊張から国防意識が強まった。^(e) ^(g) ^(h) そこでオランダ語以外のヨーロッパ諸語の学習・研究が幕命により始められた。この時代は、蘭学者によって海外事情や外国地誌についての書物が著された。

江戸時代の後期になると西洋学術は藩校や私塾にも取り入れられた。開国後には欧米諸国との交流や貿易が始まり、オランダ以外の国を通じて西洋学術が移入されて学習・研究されるようになると、蘭学と同じ意味で用いられてきた洋学はヨーロッパから移入される学術一般の学習・研究を指すものとなった。⁽ⁱ⁾ 開港後の幕末期、洋学は各地各所で積極的に取り入れられるようになったが、江戸時代の末期以降は英米仏といった欧米大国経由の洋学が盛んとなり、鎖国下で栄えた蘭学は廃れることとなった。^(j)

7 (日本史)

問1 文中の空所Aに入れるのに最も適切な地名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 14

- ① 平戸 ② 出島 ③ 豊後府内 ④ 山口

問2 文中の空所Bに入れるのに最も適切な役職名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 15

- ① 通信使 ② 遠国奉行 ③ 組頭 ④ 通詞

問3 下線部(a)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 16

- ① ポルトガル人宣教師ガスバル・ヴィレラがキリシタン大名らに進言して、少年使節がローマ教皇のもとに派遣された。
② スペイン人宣教師フランシスコ・ザビエルは、30年以上にわたる日本での布教活動の記録を『日本史』として刊行した。
③ イタリア人宣教師ヴァリニャーノ（ヴァリニャーニ）は、日本の実情に合わせた布教方針を取り、南蛮寺や教育機関を充実させた。
④ イタリア人宣教師シドッチは、パテレン追放令後に入国して捕まり、その尋問をもとに世界地誌『采覧異言』が著された。

問4 下線部(b)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 17

- ① 暦学者の渋川春海は、伝えられた暦法をもとに独自の貞享暦をつくった。
② 漢方医の山脇東洋は、伝えられた古医方を解説した医学書『蔵志』を著した。
③ 宣教師のもたらした画法と油絵具を用いて、折衷様の南蛮屏風が制作された。
④ 宣教師のもたらした出版技術によって、キリシタン版の日葡辞書が刊行された。

(日本史) 8

問5 下線部(c)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 18

- ① オランダ商館長は将軍の代わりごとに江戸に参府し、海外事情を記した『オランダ風説書』を提出する義務を負った。
② オランダ商館長の江戸参府の際には、使節の宿泊所に蘭学者たちが集まって使節と交流し、西洋医学などの最新の知識を得た。
③ オランダ商館医のシーボルトは江戸参府時に随行し、江戸に診療所と鳴滝塾を開いて医療とともに西洋学術を日本人に教えた。
④ オランダ商館医のフルベッキは幕府に招かれてオランダ医学を教授し、天然痘の予防と治療を行なう種痘所の基礎を築いた。

問6 下線部(d)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 19

- ① 西川如見は、長崎に集まる世界地理情報にもとづいて『華夷通商考』を著した。
② 宮崎安貞は、農業経験を集大成した日本最初の農書『清良記』を著した。
③ 吉田光由は、植物・動物・鉱物の薬用効果を記した薬学書『塵劫記』を著した。
④ 大蔵永常は、農業経営の自立と安定を訴えて『広益国産考』を著した。

問7 下線部(e)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 20

- ① 杉田玄白らの翻訳したオランダ語の博物誌が、『蘭学事始』として刊行された。
② 稲生若水は、オランダ語の化学書を翻訳・編纂して『舎密開宗』を著した。
③ 志筑忠雄は、オランダ語の日本地誌の一部を翻訳して『鎖国論』を著した。
④ 前野良沢らの翻訳したオランダ語の医書が、『解体新書』として刊行された。

問8 下線部(f)の幕府が設けた翻訳に携わる教育研究機関の名称の変化について、年代順に配列した組合せとして最も適切なものを、次の①～⑧の中から一つ選び、マークして答えなさい。 21

- ① 蕃書調所 → 蛮書和解御用 → 洋学所 → 洋書調所 → 開成所
 ② 蕃書調所 → 開成所 → 蛮書和解御用 → 洋学所 → 洋書調所
 ③ 蕃書調所 → 洋書調所 → 蛮書和解御用 → 開成所 → 洋学所
 ④ 蕃書調所 → 蛮書和解御用 → 洋学所 → 開成所 → 洋書調所
 ⑤ 蛮書和解御用 → 蕃書調所 → 洋書調所 → 洋学所 → 開成所
 ⑥ 蛮書和解御用 → 洋書調所 → 蕃書調所 → 開成所 → 洋学所
 ⑦ 蛮書和解御用 → 洋学所 → 蕃書調所 → 洋書調所 → 開成所
 ⑧ 蛮書和解御用 → 蕃書調所 → 洋学所 → 開成所 → 洋書調所

問9 下線部(g)の時期に書かれた著作を次のX～Zから2つ選び、その著作の文章を下線の史料1～史料4から選んだ組合せとして最も適切なものを、後の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 22

- X 『海国兵談』
 Y 『経世秘策』
 Z 『自然真常道』

史料1

上無ければ下を責め取る奢欲も無く、下無ければ上に諂ひ巧むことも無し。[中略] 各々耕して子を育て、壮んに能く耕して親を養ひ子を育て、一人之を為れば万人之を為して、貪り取る者無ければ貪り取るる者も無く、天地も人倫も別つこと無く、天地生ずれば人倫耕し、此外一点の私事無し。是れ自然の世の有様なり。

史料2

日本は海国なれば、渡海・運送・交易は、固より国君の天職最第一の国務なれば、万国へ船舶を遣りて、国用の要用たる産物、及び金銀銅を抜き取て日本へ入れ、国力を厚くすべきは海国具足の仕方なり。自国の力を以て治る計りには、国力次第に弱り、其弱り皆農民に当り、農民連年耗減するは自然の勢ひなり。

史料3

海国なるゆへ何国の浦江も心に任せて船を寄るゝ事なれば、東国なりとて曾て油断は致されざる事也。是に因て思えば、当世長崎の港口に石火矢台を設て備を張が如く、日本国中東西南北を論ぜず、悉く長崎の港の如くに備置事、海国武備の大主意なるべし。さて此事、爲し難き趣意にあらず。今より新制度を定て漸々に備なば、五十年にして、日本の惣海浜堂々たる敵備をなすべき事、得て期すべし。

史料4

一体いきりすに限らず、南蛮西洋の儀は御制禁邪教の国に候間、以来何れの浦方におりても異国船乗寄候を見受候はば、其所に有合候人夫を以て、有無に及ばず一因に打払い、逃延候はば追船等差出すに及ばず、其分に差置き、若し押し上陸致し候はば、搦捕り又は打留候ても苦しからず候。

- ① X — 史料1 Z — 史料4 ② Y — 史料2 Z — 史料3
 ③ X — 史料3 Y — 史料2 ④ X — 史料4 Z — 史料1

問10 下線部(h)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 23

- ① 桂川甫周は、漂流民の見聞をもとにロシア事情を『北樞聞略』として刊行した。
- ② 宇田川玄随は、蝦夷地誌やロシアとの貿易を論じた『赤蝦夷風説考』を著した。
- ③ 新井白石は、蘭書の記述をもとにヨーロッパの地理書『西洋紀聞』を著した。
- ④ 佐久間象山は、対外貿易の拡大を訴えてアジアの地誌『経済要録』を刊行した。

問11 下線部(i)に関連して、次の地図に示した㉗～㉙の場所に該当する藩校および私塾についての記述として最も適切なものを、後の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 24



- ① 細川重賢が㉗に開いた藩校では、殖産のために西洋流の織物技術が教えられた。
- ② 緒方洪庵が㉘に開いた私塾では、福沢諭吉や橋本左内が蘭学を学んだ。
- ③ 吉田松陰が㉙で主宰した私塾では、伊藤博文や高杉晋作が蘭学を学んだ。
- ④ 徳川斉昭が㉚に設けた藩校の講武所では、西洋流の訓練や砲術が教えられた。

問12 下線部(j)に関連して、幕末に来日して洋学を伝えた外国人として最も適切な人物名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 25

- ① ボアソナード
- ② ヘボン
- ③ フェノロサ
- ④ モース

問題Ⅲ 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。

19世紀以降、欧米諸国は金本位制を採用することで資本主義経済の発展の基盤となる通貨価値の安定をはかった。これに対して、日本は金不足のために採用していた銀本位制のもとで、産業革命を経験したため、金本位制に否定的な見解も多く存在した。しかし、日本も欧米諸国と政治経済的に対等となり、「一等国」としての地位を得るために、日清戦争の講和条約で得られた賠償金を利用して金本位制に移行した。ところが、日本は大幅な貿易赤字や外債の償還によって金の流出が続き、金本位制採用直後に早くもその維持が困難となった。

この状況を改善することとなったのが、第一次世界大戦である。この大戦において、日本はイギリスとの同盟を背景にドイツに宣戦し、ドイツが中国に保有する権益の接取をはかった。また日本は、この第一次世界大戦に伴う好景気によって金準備を大きく増加させ、金本位制維持を安定的なものとした。にもかかわらず、日本は第一次世界大戦に参戦した欧米諸国が次々と金本位制を一時停止するのに追随して、1917年に金本位制を停止し、終戦後の早期復帰を企図した。しかし、アメリカが終戦直後の1919年、イギリスが1925年に金本位制に復帰する一方、日本は関東大震災と1927年の金融恐慌によって金本位制復帰のタイミングを逃した。結果的に、日本が金本位制への復帰を果たしたのは1930年になってからであった。しかしながら、この数か月前に始まった世界恐慌によって、日本の輸出は減少し、金の流出が続いた。その結果、日本は金本位制を維持することが困難となり、新たに大蔵大臣に就任した A によって、金本位制はわずか2年弱で再停止されることとなった。

これをもって日本は管理通貨制度に移行する一方、A の下で恐慌に対処し、他国に先駆けて不況を克服することができた。こうした日本の政策は、日本と同じく金本位制を離脱した欧米諸国との経済摩擦を引き起こし、欧米諸国による保護主義的な経済ブロックの形成を導いた。日本も、欧米諸国の経済ブロックに対抗するために、植民地を中心に日本円を基軸通貨とする円ブロックを形成した。日本は、円ブロック拡大をはかるべく戦争へと突き進み、欧米諸国やその植民地との貿易に依存しない自給的な経済圏の構築を追求した。他方で日本政府は B を制定して、議会の承認なしに物資や労働力を徴発する権限を得ることで国内経済の統制を進め、戦争の遂行を支えた。

戦後、日本は経済復興を推し進めるために再び通貨価値の安定をめざした。政府は、戦後の物不足や通貨増発でインフレが進むなかで、C によって預金封鎖や新円への切替え、引出し制限による通貨供給量の削減を進める一方、緊縮予算や物価統制を通じてインフレを収束させた。この後、日本は国際通貨基金(IMF)に加盟し、その下で通貨価値の安定をはかることで高度成長を成し遂げることとなった。

問1 文中の空所Aに入れるのに最も適切な人物名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 26

- ① 片岡直温 ② 松岡洋右 ③ 高橋是清 ④ 渡辺錠太郎

問2 文中の空所Bに入れるのに最も適切な語句を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 27

- ① 労働関係調整法 ② 国家総動員法
③ 生産力拡充計画 ④ 帝国国策遂行要領

問3 文中の空所Cに入れるのに最も適切な語句を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 28

- ① 経済安定九原則 ② 貿易為替自由化大綱
③ 金融緊急措置令 ④ 賃金統制令

問4 下線部(a)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 29

- ① 綿業において、大阪紡績会社がガラ紡を用いた綿糸生産で成功をおさめた。
② 鉄鋼業において、日本製鋼所などの官営の製鋼会社の設立が進んだ。
③ 製糸業において、器械製糸に替わって座繰製糸が普及した。
④ 造船業において、三菱長崎造船所が政府の造船奨励政策によって成長を見せた。

問5 下線部(b)に関連して、日清戦争の講和会議に参加した日本全権として最も適切な人物名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 30

- ① 井上馨 ② 桂太郎 ③ 寺島宗則 ④ 陸奥宗光

問6 下線部(c)の時期における日本のアジアへの経済進出についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 31

- ① 寺内正毅内閣が、西原亀三を介して北方軍閥政権に借款を行ない、中国に対する影響力の拡大をはかった。
② 半官半民の南満州鉄道株式会社が大連に設立され、満州における勢力圏拡大の足掛かりとなった。
③ 日本郵船会社が設立され、綿花の輸入を拡大するために日本とボンベイ間の航路が開設された。
④ 日産、日窒などの重化学工業を中心とした新興財閥が台頭し、軍部と結びついて朝鮮、満州に進出した。

問7 下線部(d)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 32

- ① 好景気によって賃金が大幅に上昇し、都市労働者や中小農民の生活水準が向上した。
② 世界的な船舶不足のために、海運業や造船業が活況を呈し、多くの船成金が生まれた。
③ 製造業が発展したことで工業人口が増加し、農業人口を上回った。
④ 欧米諸国が支配するアジアの植民地に向けて、機械製品の輸出が拡大した。

問8 下線部(e)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 33

- ① 多くの銀行が、決済不能になった震災手形を大量に抱えていたが、不況のために決済処理は進んでいなかった。
② 鈴木商店の経営が破綻し、同社に多額の融資をしていた横浜正金銀行は巨額の不良債権を抱えた。
③ 銀行の再編が進んだことで、大銀行に集中していた預金が中小の銀行へと分散されていった。
④ 加藤友三郎内閣がモラトリアム(支払猶予令)を発すると同時に、日本銀行が救済融資を実施することで金融恐慌を鎮静化させた。

問9 下線部(f)について述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして最も適切なものを、後の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 34

X 元日本銀行総裁の井上準之助が大蔵大臣に就任し、緊縮財政政策を推し進めることで金解禁に向けた準備を行なった。

Y 政府は旧平価での金解禁を望んだが、検討の末に1930年時の為替相場で金解禁を実施した。

- ① X — 正 Y — 正 ② X — 正 Y — 誤
③ X — 誤 Y — 正 ④ X — 誤 Y — 誤

問10 下線部(g)についての記述として誤っているものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 35

- ① 軍需と政府の保護政策によって、重化学工業が発展し、屑鉄や機械の輸入依存から脱却することができた。
② 赤字国債の発行を財源として、軍事費の増大を中心とした積極財政政策が推し進められた。
③ 低為替政策によって、円の価値が大幅に下落することで、工業製品の輸出が急速に拡大した。
④ 政府は、困窮する農民を救済するために、時局匡救事業として公共事業を行ない、農民を雇用して現金収入の途を与えた。

問11 下線部(h)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 36

- ① 石油、ゴム、ボーキサイトなどの重要資源を確保するために、北進論が強く主張された。
② 軍票を発行して、占領地の経済を安定させることで、資源の効率的な調達が進んだ。
③ 柳条湖での日中両軍の衝突を契機として、資源や市場を獲得すべく、華北への派兵を決定した。
④ タイとビルマを結ぶ泰緬鉄道の建設のために、現地の人々や連合軍の捕虜が強制的に動員された。

問12 下線部(i)の経済政策を指示した人物として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 37

- ① シャウプ ② リットン ③ ドッジ ④ ダレス

問13 下線部(j)に関連して、高度成長期の経済や経済政策についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 38

- ① スミソニアン博物館において10か国蔵相会議が開催され、変動相場制への移行が決定された。
② アメリカ大統領トルーマンは、アメリカの金準備減少を阻止するために、金とドルの交換停止を発表した。
③ 1ドル=360円に固定された為替レートによって、高度成長期には円が割安となり、日本の輸出が促進された。
④ IMF 8 条国に移行することで、国際収支上の理由によって輸入制限することが禁止された。